

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域の中の大家族として、支えあえる町づくりを目指し、健やかに(元気で生き生きとして)穏やかに(自然の中でゆったりと、おおらかに(はつらつと自分らしく)寄り添い、敬いあいながら、その人らしく</p>	<p>○</p> <p>周辺を散策し野辺の物と触れあえる環境にあり健やかでその人らしく輝ける支援を、これからも継続していきたい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員間での意思統一を図り理念を共有できるよう日々のミーティングで気づきを話し合い実践に向けて具体的なケアに活かしている</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族には訪問時や家族会等でお伝えしている。地域の方にはホーム見学時等々交流の場で説明したり、折にふれ事業所の実践を伝えている。</p>	
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>野菜を近隣から持ってきて頂いたり、交流を深めている。又散歩に出かけると温かい声をかけていただき、回覧板も廻っている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続し、おつきあいを深めていきたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会に加入し自治会の花見・文化祭・地区のお祭り・地元神社への初詣等積極的に出かける。文化祭では演芸部門に参加した。又、保育園児の発表会の場となり、ボランティアとの交流もしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実習生の受け入れや公民館等でキャラバンメイトとして啓発活動をしている。又通所介護ご利用の「認知症介護家族の男性の集い」を行い昼食を挟んでリラックスして頂きながら、話せる場所を作り、相談に応じている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はホーム長が中心になり、全職員で行いサービスの質の向上に繋がるよう努めている。 外部評価の結果は管理者会議やミーティングで報告し改善に向かって実践できるよう努力している。	○	結果を全職員で受け止め今後の質の向上に努めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者状況・サービスの実際・問題点等提示して、ご検討を頂き アドバイスを受け入れ、サービス向上に繋げている。	○	運営推進会議では細部に亘って有識者の意見を頂き改善に繋げていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当窓口の方はもとより、運営推進会議への出席「介護者の会」には包括支援センターからも出席いただき、協力して取り組んでいる。	○	今後も継続していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	「成年後見制度について」勉強会「権利擁護推進員養成研修」参加 現在、対象の方はいない。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	チェックシートの実施 21年4月 スタッフ研修にて虐待について徹底を図る。	○	言葉がけ等にお互い注意し合いながら個々に意識を持って臨みたい。チェックシートの実施は継続する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	コミュニケーションを大事に係わっていききたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	○	継続することで繋がりを大切にしていきたい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	今後も継続していきたい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修、専門研修への参加。研修参加者の報告をスタッフ研修会や復命書の閲覧によって全スタッフに伝えている。	○	研修の情報をながし、希望があれば受けられるようにしたい。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	圏域に管理者の連絡会があり、又近隣のグループホームスタッフの交流会へ参加し意見交換を行い質の向上に努めている。	○	今後も参加して、情報を得て日々の介護に役立てていきたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	把握出来ていない。	○	スタッフの意見を吸い上げる方法を見出し実施したい。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	事業所に非常勤の相談役をおき運営者、管理者、スタッフ間の調整がとれ、勤務状況の把握が出来ており、それぞれの意見、提案等も吸い上げられる仕組みになっている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	生活状況について充分把握できるように通所利用から始めたり、本人・家族・とケアマネを交えて話あってご意向の確認と関係作りをさせて頂いている。		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	その場におかれている状況を傾聴し、十分な説明と相談に応じている。他の事業所の紹介等もさせて頂いている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、ご本人やご家族の意向や状況を確認し支援の提案をさせて頂く。TELでの相談にも柔軟に対応させて頂いている。必要に応じて他のサービスの紹介もさせて頂いている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	外泊をしながら徐々に慣れて頂く様ご家族と連携をとっている。通所をご利用だった方には、日中通所との交流をしながら馴染んで頂いている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の思いや、喜怒哀楽を共にし、和やかな関係づくりに配慮している。農作物や漬物づくり等得意分野をいかせる様、スタッフが教わる場面も作っている。	○	昔の経験を大事にし発揮できる場面を、どんどん作ってきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者との日々の暮らしの中で、発見できた事をご家族に伝え共有し、支援の方向を話し合っている。	○	疎遠になりがちなご家族との関係への支援を考えていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご面会時には居室でゆっくり過ごしていただいている。また遠隔地のご家族のご面会にはスナップ写真を撮るなどして、後の話題づくりに役立っている。	○	今後も継続していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	活動(ドライブ)に併せてふるさと訪問を行った。地域の方、友達等多くの面会があり、ゆっくり過ごしていただくよう配慮している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者同士の円滑な関係作りを支援している。洗濯、掃除など利用者同士で話ながら行っている。	○	スタッフ全員が調整役となって支援していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の医療機関移られた方についてはお見舞いに訪れご家族も相談に来訪されるが、その後お亡くなりになった方については、時折お会いし、お話を伺う事もある。他施設へ移動された方についても訪問し、様子を伺っている。		
計画となっている。				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉や表情で思いを推し測ったり、困難な場合は関係者から情報を得る。生活リズムを大切にし穏やかに暮らしているよう努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族へは情報の大切さを伝え、小さなことでも伝えて頂く様お願いしている。また、会話や日々の様子から一人一人の生活歴を見出し随時、プライバシーに配慮しながら情報を共有している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身状態も含め、一日のリズムを把握し、活動の中から小さな行動を見逃さず、変動の激しい方については出来る事の発見に努め全体像を見るようにしている。十分配慮し観察をこまめに記録し看護師との連携を図り支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や家族のご希望・暮らしの中で出てきた必要な事をチームやスタッフ会議で話し合いそれぞれの意見を聞きながら計画を作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	スタッフ間にて検討し、ご家族の希望を含め、現状に即した計画になっている。 介護度変更申請もして頂き現状に即した計画となっている。	○	報告を密にしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に綴じその都度確認に役立て共有している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	短期利用型を受け入れ柔軟な対応が出来ている。入居者に対しては往診、受診、入退院の対応等柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	3B体操、音楽療法、舞踊等ボランティアの協力が多く公民館活動(文化祭)にて大正琴の発表をしたり、花見に参加し地域との交流は出来ている。また、消防署から派遣をうけて火災予防をしている。	○	継続していきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理美容サービスを受けている。馴染みの美容院にも出かけている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターから運営推進会議への参加がある。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	担当医の月2回の往診がある。また、ご家族によりかかりつけ医への受診をされている入居者の方もいる。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族と相談の上受診する。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	24時間相談できる体制が出来ている。適切な指示をうける事が出来る。常時医療機関との連携もとれ、健康管理の支援をしている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病状が改善されれば早期に向けてアプローチをしている。	○	今後も継続していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療に依存する重度化や高齢による終末期については常々ご家族と話し合いを繰り返している。急変時に対応方法についてDr、家族を交えて話し合っている。	○	今後も継続していきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	当事業所で出来る事を見極めご利用者を支えていけるスタッフの力量、Drとの連携体制、諸条件を備え急変した時のためにチームで慎重に取り組む。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	医療事業者に委ね、度々お見舞いに行き関係者にはプライバシーに配慮しながら、習慣や好みを伝えるなど連携を心掛けダメージを防いでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご利用者の誇りやプライバシーを損ねないようにスタッフ研修やミーティングでの対応の徹底を図っているが徹底には至っていない。	○	言葉の大切さ、語調、トーンを意識しスタッフ全員で向上を図っていく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者個々にあった言葉かけをする事により会話を引き出し、意志の確認をしている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その日の体調、気持ちを配慮し起床時間、就寝時間、レクへの参加等柔軟に対応している。居室で昼寝をしたり、片付けをしたり、テレビをみたり、それぞれの時間を大事にしている。	○	今後も継続していきたい。
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご自分で着替えをする方についてはプライドに配慮しながら、アンバランスにならない様支援させて頂く。理美容については移動車の利用や馴染みの店に出かけている。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	米とぎ・食材切り・配膳・片付けなど、をスタッフと共に行っている。	○	今後も一人一人の力を活かす努力をしていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	外出時に好みのおやつを自由にお買われる方もあり、ティータイムには好みのものを好みの分量でいれて頂く。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗が無いようさりげなく支援している。排便についてもチェック表をつくりパターンを把握している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご意向により、毎日入浴をされている方、一日おきの方、時間についてもご本人の希望を聞いて対応している。ご意向が変わる方にはタイミングを見て声かけし入浴の支援をしている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動量を考え夜間の安眠に繋がるよう日々配慮している。不眠の際は、温かい飲み物等用意し状況に応じて安眠に繋げている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お米をとぐ等の軽作業から有する能力を発揮できるよう場面作りをし、役割を持って生活をして頂いている。梅漬け等思い出して頂き乍ら、下準備から一緒にしている。大正琴を弾かれる方の周りで歌声が聞こえる場面は日常的になっている。	○	役割を持つことが生きがいに繋がるよう支援していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方は自由に使うおられ、外出時には力量に応じたショッピングの支援をしている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候を見極め、外気浴やドライブの機会は多く持っている。	○	これからも継続していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとの外出、イベント、希望の場所等実現の機会は多く、年間計画・調整をし季節の花の観賞等でも楽しんでいる。	○	これからも継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙の支援やご家族、友人からの電話もあり、発信依頼の支援もしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽にご訪問頂いている。一緒に居室で、昼食を摂って頂いたりご家族との時間を大事にしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護保険指定基準において禁止となる行為はない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はどこからでも出られるように開放してある。スタッフの見守りの徹底を図り危険防止に努めている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	状況の確認をしながら、居室で過ごされる方については、随時声かけをする等安全に配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	消毒液等の危険な物品は分類して保管している。居室で縫い物をされる方もあり、針箱は状態に応じて管理方法を考えている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状況を把握し、危険の察知をしている。ふらつきのある方には必ず付き添い、不穩が見られる方は、さらに見守りを心掛けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急法は、スタッフが習得している。又毎年消防分遣所によるAEDの取り扱いや応急処置について研修を受けている。	○	定期的に行っていききたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難場所は自治会と協力体制にある。避難訓練・消火訓練・通報訓練の総合訓練を消防分遣所の協力の下、年2回ご利用者と共に行い、避難・通報訓練についても独自に訓練を繰り返している。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族には現在の状況を説明しご理解を頂いている。緊急時には電話で説明をさせて頂くこともあり、随時身体状況についてもリスクをお知らせしている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期発見・早期治療をモットーとしている。バイタルチェックは勿論のこと、食欲や顔色、様子など変化を見逃さないよう観察している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は看護職があたる。服薬時は、ご本人の前で日付、名前、食前後食間、袋数の確認を行い、飲み込まれるまで確認をする。又服薬説明書はファイルしており、スタッフが何時でも確認出来る様にしてある。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	自然排便を促すよう、起床時に水を飲んで頂くことが習慣となっている。排便表に記入し、リズムを把握出来るようにしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個々の力を見極め支援している。声かけ、介助を行い記録をとっているが声かけのみで確認できない場合がある。	○	徹底を図っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人一人の状態や力に応じ、調整している。(量、調理法)</p> <p>一日の摂取量が分かる様に記録している。</p>	
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症予防のマニュアルを掲示し実行している。</p>	
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>1日分の材料を購入し、使い切る事を基本としている。また、調理用器具は常に衛生を保つよう乾燥機に入れている。</p>	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関は開放感がありは入りやすい。玄関先にベンチを置き、出入りにひと休み出来るようにしている。花は欠かさないよう心がけている。</p>	
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の廊下ホール壁面には、入居者の作品(習字・俳句・写真等)を掲示し暮らしぶりを見て頂いている。和室は団欒の場所になっており冬には炬燵を囲みお茶をいただくこともある。</p>	
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下にスペースがあり、座って話しをしたり、歩く途中にひと休みをしたりしている。居間にはソファがありテレビを見たり、居眠りをしたり、自由に過ごせるスペースとなっている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれに馴染みのあるものを、持ち込んでおられ、花を生けたり、お好みのものを飾って頂いている。ご自分の作った作品を飾ったり模様替えをされたりしている。	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室の換気には特に配慮し空気のだよみを防いでいる。冷暖房も適温になるよう配慮している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室・トイレ・廊下等には手摺をつけ状況に応じて使用できる環境にある。車椅子の方など自分で動き易いように居室内の位置変えも行っている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	絵や文字での表示、分かりやすい環境設定をして、混乱失敗のないように、その人らしく生活できる様に見守っている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ランチテラスは外気浴、食事会、収穫した野菜の処理、漬物を漬けたり外周りは散歩、運動会に、中庭はお茶を飲んだりボランティアの方の舞踊の場であったりと幅広く活用している。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- \*大自然の中にあり、季節を存分に感じる事が出来、どんどん外気に触れています。折々に話の種となり、俳句を詠まれる事もあります。
- \*広い畑があり新鮮な野菜を食材にしています。収穫時や下処理に係りながら、いろいろな話が広がります。
- \*建物の周囲が広く、のんびりできます。中庭は芝になっており、散策はもちろんイベントの場所にもなり、お茶や食事の場所にもなっています。
- \*時には皆でハンドベルをしたり、入居者の方の大正琴に合わせて歌を歌ったり、ゲームをしたり、楽しんで頂いています。
- \*一人ひとりの貼り絵や裁縫、新聞を読んだり、好きな事をする時間を大切にしています。
- \*飼っている犬は癒しになっていて、みんなが笑顔になります。
- \*大正琴の音色に包まれホッとしますよ。遊びにおいで下さい!